

찜질방からみる韓国文化

国際文化学部 4年 垣下友希

●韓国のお風呂事情

韓国では、日本のように家庭でのんびり湯に浸かるということは殆どない。湿度が低いせいも、毎日湯船に入る習慣は無く、基本的にシャワーのみで、週に1, 2度、垢すりタオルで垢を落とすというのが一般的である。ただ、足や上半身（特に首あたり）は外出から帰ってきたらすぐに濡れタオルで拭き、汚れがたまらないようにするようだ。また韓国では湯船に入る場合、たとえ家族でも必ずお湯を換えるのだが、これが面倒であるために、家庭ではあまり湯船に浸からないという説もある。

一方で、韓国には日本でいうスーパー銭湯のような찜질방や汗蒸幕が数多くあるため、普段家で湯に浸からない分、韓国人はそのような場所をよく訪れる。しかも찜질방などは、10,000ウォン程度と安価なため、頻繁に利用する人も多いようだ。

●찜질방とは

찜질방とは、銭湯のような浴場はもちろん、さまざまな種類のサウナがある他、食堂、仮眠室、マッサージ、インターネットカフェ、フィットネスクラブなど、お風呂以外にも充実した施設が整っている健康ランドのような所である。찜질방は街のあちらこちらにあり、殆どが24時間営業だ。しかも料金も手頃なため、安価な宿泊施設として利用する客も多い。また、浴室や更衣室以外は男女兼用なので、家族、恋人、友人など、誰とでも気軽に楽しめるレジャー施設となっている。

●韓国人にとっての찜질방

韓国人にとっての찜질방とは、「憩いの場」であるといえる。もちろん、찜질방を訪れる第一の目的は、健康面や衛生面を考え、“汗をかいて綺麗になる”ことだろう。しかし、韓国人が찜질방を利用する本当の目的は、一緒に訪れた家族、恋人、友人たちとゆったりとした時間を過ごし、身体だけでなく心までリラックスさせることではないだろうか。

찜질방専用の服に着替え、化粧を落とすと、日常のしがらみから解放されるような感覚がある。そしてサウナに入って汗を流



し、疲れたらロビーで休憩するのだが、ここで面白いのが、日本人と韓国人の物の捉え方の違いである。日本人であれば、せっかく 찜질방に来たのだから、サウナに入る時間をできるだけ長く取りたいと思うのではないだろうか。ところが韓国人の場合、サウナに入るよりも、ロビーでくつろいでいる人の方が断然多い。一概にはいえないが、찜질방にいる韓国人をみていると、汗をかいて綺麗になるというより、家族や恋人とゆっくり団欒し、ストレスを発散することで綺麗になるという印象を受ける。

また、찜질방は安価な宿泊施設ともなっているが、夜遅くに子どもがいたり、カップルと一緒に寝ていたりする光景は、日本人の目には異様に映るだろう。厳しい親を持つ私からすれば、「恋人と外泊なんて…親は何も言わないのだろうか」と不思議に思う。しかし、もしかすると両親の方も、「찜질방は団欒・憩いの場」という認識があるからこそ安心できるのかもしれない。

それにしても、人の目を気にせず抱き合って寝ているカップルを目にすると、見ているこちらが恥ずかしくなってしまう。公共の場にも関わらず、まるで家にいるかのようにリラックスできるのは、찜질방の力なのか、ただ単にお国柄の違いなのか、興味深いところである。



●日本との比較

韓国の 찜질방 と比較するため、日本のスーパー銭湯に行ってみた。スーパー銭湯は、찜질방ほど規模は大きくないが、浴場やサウナの他に食堂、整体・マッサージ、ゲームなどが設置されている。

찜질방 と私が訪れたスーパー銭湯との違いは、“スーパー銭湯は 24 時間営業ではないため、「安価な宿泊施設」という認識はない”という点と、“男女兼用のスペースはロビーのみであるため、찜질방のようにカップルで楽しむことがなかなかできない”という点だ。また、調査の時間帯を合わせるため、スーパー銭湯へは平日の 23 時頃に訪れたが、大半は男性で、子どもの姿もほとんど見られなかった。

そして、韓国人にとっての 찜질방 と日本人にとってのスーパー銭湯とは、その目的や役割が大きく違うように見受けられた。韓国人にとっての 찜질방 は、「憩いの場」とであると先に述べたが、日本人がスーパー銭湯を訪れる目的は、「のんびりお風呂を楽しむ」ことであるようだ。男女兼用のロビーでは、ゆっくりお風呂を楽しんだ後に、身体を冷ましたり、少しくつろいだりするといった様子で、多少休憩すればすぐに帰宅する客も多かった。日本人にとって「憩いの場」の役割を果たすのはお風呂そのものであり、熱い湯に浸かりながらコミュニケーションを楽しむというのが、日本人が銭湯を訪れる最大の目的ではない

かと思われる。

しかし、今回は浴場を中心としたスーパー銭湯との比較であったため、スーパー銭湯よりも大規模で施設が充実している健康ランドと比較すれば、また違った調査結果が現れるかもしれない。

● 찜질방 からみる 韓国文化

韓国人と接していると、コミュニケーションに対して積極的でスキンシップも多いため、人と人との距離が近いと感じることが多々ある。そのように、「自分のテリトリーをあまり強調しない」という点は、찜질방 においても同様のことが言えるのかもしれない。

眠くなれば、見ず知らずの人が隣で寝ていても、特に気にすることなく自分も寝る。そのような深夜から明け方にかけての 찜질방 の光景は、何かあっても「괜찮아 (大丈夫)」で乗り切る韓国人の大らかさを象徴しているように思えた。

また、一人で訪れる客が殆どいない点を見ると、やはり韓国人にとって 찜질방 とは、仲間との団欒を楽しむもので、一緒に汗を流したり眠ったりすることで、お互いの距離をより縮めることのできる空間なのではないだろうか。



これが、日本人である私の目から見た 찜질방 である。

〈参考URL〉

『韓国のお風呂』 <http://www.bath25.com/kankoku.html>